

セランガンバツ



セランガンバツ（バンキライまたはバラウ）はフタバガキ科の広葉樹で、原木は直径約 1m～1.5m 程度、樹高は 50m～60m の大木です。

イペやウリンと比べると比重が小さくて軽いので施工が容易です。価格はリーズナブルでお求めやすい材。

- 樹種：フタバガキ科
- 比重：0.85～1.0
- 曲げ強度：1150
- 圧縮強度：760
- 参考耐用年数：屋外で10年以上
- 長所：国内認知度高く公共などの使用実績が多い。
供給が安定している。
- 短所：種類が多く原産国によりグレード・耐久性が異なる。
小さな虫穴が混入する場合があります。
- 耐久性：ウリン、マニルカラ、イペ等と比べると若干劣るとはいえ重硬で多くの商業施設にも実績がある。
- 原産地：インドネシア・マレーシアなどの東南アジア一帯。
- 取り扱いサイズ
12×100 / 20×90 / 20×105 / 20×120 / 30×105 / 30×120 / 30×150

45×70 / 45×90 / 70×70 / 90×90 / 105×105



株式会社 タンセイ